

第4分科会（ワークショップ形式）

大学の授業における「所属感・居場所」づくり

概要：

本ワークショップの大きな目的は、学生の中退予防について考えたい、というものである。とはいっても、中退を防ぐにはどうすればよいか、というよりも、学生が自ら大学に来たい、講義や課外活動に続けて参加したい、そう思ってもらえるような大学としての工夫に着目したいと思う。そこでキーワードとして「所属感・居場所」を考えてみた。当日は、このキーワードから、報告者より日々の取り組みの紹介などをしていただく。

具体的には、本ワークショップのコーディネーターである龍谷大学心理学部の小正から、中退に関する思いと所属感に関する調査結果について紹介したい。そして、龍谷大学心理学部教務課課員の中尾氏には、龍谷大学心理学部の学生たちと教員で構成される「チーム彩」の取り組みを中心にお話をいただく。跡見学園女子大学観光コミュニティ学部の土居教授からは、日々の授業における学生とのやり取りについて、SNSの活用なども含めた実践を教えていただく予定である。

これらをもとに参加者皆さん同士のグループワークを行い、大学における「所属感・居場所」を学生が感じられるにはどうしたらよいのかを、共にアイデアを出し合ってみたいと思う。

ぜひ多くの皆様の参加をいただき、実践知を集約させ、新しい発見へつながることを期待している。

<プログラム>

10:00 趣旨説明・調査報告 龍谷大学 心理学部 准教授 小正 浩徳氏

10:10 話題提供1. 「龍谷大学心理学部における取り組み（仮題）」

龍谷大学 心理学部 教務課職員 中尾 覚氏

10:40 話題提供2. 「大学講義における取り組み（仮題）」

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 土居 洋平氏

11:10 休憩

11:20 グループワーク

12:15 シェアリング